

経営方針

『信頼と協調』

自然を愛し、人を愛し、仕事を愛する』

三月十一日の震災は十六年前の阪神大震災を上回る目を覆いたくなる様な大惨事でした。発生時から国を挙げて復興に向けて昼夜尽力されていますが、我々製造業にも大打撃あり、生産ライン停止も止むを得ない状況に追い込まれ、リーマンショックからやっと立ち直りかけていたところでしたが、またまた厳しい状態に追い込まれてしまいました。とは言え東日本ではこれから何年何十年と懸けて復興していくことになり大きな試練が待っています。我々同じ日本人として他人事では済まされません。何かお役に立てないかと社員の中から義援金活動が始まり、有志一同に親睦会、会社が賛同し、僅かばかりですが、一助にでもなればと寄付させて頂きました。社員一同、心より早い復興をお祈りしています。

東日本の方々はまだまだこれからですが、我々の地域では少しずつ生産量が戻りつつありますが、皆さんも御存知のように「原発」の関係で全国的に電力不足発生の為自動車業界も七月から九月末まで、平日休日、土日出勤体制で節電対応しており、当社もこれに倣って輪番操業に対応、その為皆さんやお客様にもご迷惑をおかけしています。ご理解頂き、ご協力の程宜しくお願い致します。

当社の経営状態は、前述の生産減と低コスト化で思わしくない数字です。新しい分野電アルミのめつきを活かす為にプレス加工のみではなく、マシニングセンターの導入により機械加工分野へ進出し、より付加価値の高いものにし、自動車部品一本から脱却していきます。マシニングを中心に新しい設備も次々と準備していく予定です。高リスクではありますが、今後当社が生き残る手段の柱となります。

二〇一一年前半を顧みて

社長

コスト競争は益々厳しくなつてきています。年頭にお願ひした「ムリ・ムラ・ムダ」の排除で三〇%以上の生産性向上の改善に努力され成果が出てきていると思いますが、「業に・早く・良い部品」を作る事は永久のテーマです。改善に終わりはありませんのでこれからもどしどし提案してください。

今年も「熱中症」で多くの人が亡くなられています。皆さんも体調管理を十分にして頂き、この夏を乗り切ってください。

最後になりましたが、西日本にも三〇年以内に大地震が起る可能性が高いと言われています。「いざ」という時の準備も必要です。認識しておきましょう。

ISO9001・14001 同時審査受審 業務課 主任 H・U

まず始めに今回のISO品質・環境の同時審査受審について全部署、皆さんのご協力に感謝申し上げます。今回は審査機関の変更に伴い、品質の更新審査のみの予定から品質・環境の同時審査受審に踏み切りました。先を考え検討の結果、いろんな面に効果有りかと判断したからです。日程、時間を考えると「大丈夫か」と正直な気持ちでした。初めての事で内容すら理解してない状況、やるしかないかと指示された事をこなしながら、皆さんにご協力頂きながら準備をしました。同時に自分でも吸収していかなければならないのですが結構、空回りしていました。まだまだです。審査は一月二十四日・二十五日、品質更新審査・

環境定期審査と無事に終えました。感じた事ですがISOの目的は審査機関が変わっても同じです。しかし今までの審査機関と今回の審査機関では、審査項目・視点が大きく違っていました。必ずチェックされると用意した書類に目も通さず、前回までに問題なかった項目を指摘されたりと、予想外の展開もありました。社内の仕事にも繋がる事かもしれない。一つの製品が仕上がるまでにいろんな面から視野を広く、多くの目で見れば思ってもいなかった効果・効率向上に繋がったりする事とか改めて見えてくる事とか良い面もあります。これに対しては絶対これといった考え方だけではどうかと、もっと柔軟な考えも必要かと、又、今回審査員の方々に褒めて頂いたのが内海ニュースです。審査前日、会社資料と内海ニュースを渡して頂いたところ読んで頂き「感動した。会社内のコミュニケーションが良く取れています。すばらしい、ISOは必要ないですね」とまでの言葉を頂きました。会社が同時に社員が成長していくには数え切れないほどの努力や問題がある事でしょう。その中で社内でのコミュニケーションが大きな役割を占めているのも事実です。そこを褒めて頂いたのですから内海工業はまだまだこれからの事実です。そこを褒めて頂いていまして、皆さんのご協力に感謝します。と同時に次回の準備が迫っていますので、宜しくお願いします。

【1】



出荷班現場監査



品質管理課監査



Y班長現場説明

○係長の力説



製造課監査



生産技術班監査



事務局から説明

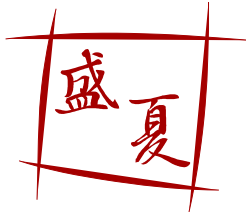
日毎会議



コンベアーによる流れ生産

現在二班では、コンベアー使用による流れ作業を行っていません。目的は一個流しをする事により不良を低減させる事、また、台車・容器・パレットをプレス間に置かず、コンベアーで次工程へ流し、準備や入れ替えのムダを省き、生産性を向上させる事が大きな目的です。ですが、ハンドワークである事や、金型の構造等により、各工程で生産スピードにバラツキがあったり、製品によって工程数の差や、生産数の差がある為、使用プレスのほぼ限定しているものの、段取りのタイミングが合いく、流れ作業が出来ていないものがまだあるのが現状です。しかし、実際にやってみる事で、プレス機のレイアウト、金型、QDC型の区別、工程数の削減や加工後の製品の取り出し方法を変更し、出来るだけノーハンドにする等、

問題点や課題も少しづつですが見えてきています。プレス機では、段取り時間の短縮も含め、生産性を向上させる為に、特に重要だと思えます。多くの課題があります。多岐にわたりますが、改善提案し、大きく変わっていきたいと思います。



部品検査用検具：QDC金型整理棚



五・六月は生産の減少もあり、良い機会だったので、検査場の整理・清掃、及び見直しを行いました。これまで一カ所に置いてあり、見栄えも悪く、分りにくい為、探す事も多かったと思います。まずは、置き場所を決め、寸法を測り、生技班へ、『検具棚』を依頼・作製して頂き、棚が完成までの間、みんなをそれぞれ分担し、検具・治具をひとつひとつ拭き、品番を付け、分かりやすく表示しました。出来上がった棚には、それぞれ綺麗にペンキ塗りをして、ペンキが乾いてから、それぞれ決めた棚置場に設置し、棚へも品番を付け、所番地を付けて分かりやすく表示しました。今回、こうして見直し、改善が出来、整理されたことにより、探す手間がなくなり、分かりやすく、見栄えが良くなり、作業性の向上に繋がりました。班全体で、このような見直しをする上で、班長を先頭に、自班みんなで見直しを行うことで、班でのコミュニケーションもとれ、とても良い改善にも繋がったと思います。班全体で、みんなですること、ということ、とても良いことだと思われ、これからの色んな事を勉強し、見直し、改善していきたいと思えます。

マルチフォーミングレイアウト

製造課 一班 M・K

某月某日、ついにと言うかやっとなんか、とにかく以前より話のあったマルチ機の技術班から一班への移動が無事終わりました。移動前は生技班まで行って作業をしていたので場所的に非常に離れていて作業管理が出来ず、いろいろ問題がありました。移動前と移動後の作業を確認すると、まず材料のセットから自動運転まで。材料のセットがホイストからリフトへ変更。セット等は今までと同じ。次に

作業中。以前は三十分一回の確認で停止に気付かない事も多々ありましたが、移動後は停止にも早く対応できるようにになりました。最後に作業後。以前は機械とパレットが離れていて製品の運搬が大変でしたが、現在はパレットが近くにあり楽になりました。以上です。総じて、目に付く所に機械があるので停止やトラブルにより早く対応できるようになったと思います。



150トンプレス機横にレイアウト

5月18日(初入荷) コイルを立てて入荷工場内にトラック搬入



コイルの搬入が楽になったなあ〜☆

コイル材納入時、以前はメーカーが材料を寝かして来ているのを外でリフトにより荷降ろしを行い、工場内まで運びそれをホイストで吊ってコイル材を起こしていた。起こす時二巻くらい切って処分していた。それと荷降ろしと片づけで常に二人作業になっていった。仕分作業終了まで三〇分以上かかるところがあり、五月十八日の初入荷からコイルを立てて入荷となり今現在に至るまで、トラックが工場内に入り玉掛け作業は運転手が行い、ホイスト作業は極力監督者がする様にし、一人作業で二十分以内で済む様になり、吊る時もチェンリングに材料の両側にゴムの敷板を間に入れキズ防止をし作業時、外観チェック、調整がスムーズに出来る様になった。難点もあり雨の日トラックが入る数分間床面がびしょ濡れになり掃除が大変である。玉掛け作業時には必ず相手と合図をしなから安全最優先で行いました、日々このような改善意識を持って、前進していきたいと思えます。

決められた機械。決められたルール。決められたリズム。決められたことを、決められたようにすれば、規格に合格する製品が出来上がる。

このようなシステムは、やるべきことがはっきりしているの、育ちやすく、育てやすい。目指していかねばいけません。方向がもしもずれない。見る方向を変えれば、システムさえそろえば、どこでもよく、日本でなくてもよい。日本の発展のためから、個々が生き残るためだけのものになってきている。

沈みゆく日本を、虎視眈々と狙っている強力な外国勢とのせめぎあいの上に成り立っている日本。時代の空気に、飲み込まれなくてはならないし、飲み込まれてはいけません。目先の利益を追わなければならないし、目先の利益を追って先が見えていない。本当に難しい時代に生きていることを感じる。



コイル材 立てて入荷

マシニングセンター



コイル材搬入方法変更

製造課 一班 副班長 H・D

今回のコイル材搬入方法の変更では、以前の材料搬入より、時間も人も、短縮、削減できました。今まではトラックが外に横づけをし、寝かせたコイル材をリフトで取り、工場内に搬入して、工場内でもう一人がホイストクレーンでコイル材を起こし、片づけていました。変更後では、トラックを工場内に入れホイストクレーンで吊り降ろす、人も一人いれればすみ、コイル材を降ろす時間と片づけが早くなりました。その分問題もいくらか出て、それも一つ一つ解決して、安全第一で、また片づけが早くなった分プレス作業の方も少しは、早くなるのではと思っています。また、プレス作業の能率も上がる様、努めていきたいと思ひます。

第一工場西側通路カーテン取り付け

業務課 課長 K・K

昨年十一月から十二月にかけて、第一工場西側の出荷トラック、社有車出入口に施錠のカーテンを設置しました。と言うのもここ数年、外部からの侵入者の仕事とされる盗難が数件発生してしまいました。工場内にはすでに一部、防犯カメラや感知照明を設置していましたが「防犯対策が不十分では」との意見もあり、思い切ってカーテンの設置に踏み切りました。工場の方まで侵入可能であり、まず道路に面したこの通路入口を塞ぐことが一番有効な防犯対策になると、会議でも承認されました。工事は内海工業の殆どの工事を請け負って頂いている倉藤工業さんとS Kサービスマンにお願ひしました。(ええ仕事しまつせ)

着工してからはあつという間の工事でした。立派なカーテンを取り付きました。動きもスムーズであり力を入れなくても簡単に開け閉めできます。閉めた後は施錠できるようになっています。これで防犯効果も格段にアップしたことは言うまでもありません。ただ退社時に閉め忘れだけは無いように皆で注意しましょう。

通常時



外からの防犯効果、大!



閉めた時

工場南西側入り口(防犯用)

電気勉強会終了

業務課 班長 M・I

電気勉強会に参加して、全く電気はわからなくて、A接点? B接点? なにかから始めて電気回路を理解するまでに時間がかかり、月一回の勉強会で前回の勉強内容を忘れ、工場長に注意されたが一応最後まで参加して修了書を貰いました。終了はしましたが、まだ電気は難しく分からない事に聞き理解したいと思ひます。

出荷場南側屋根シート更新について

業務課 出荷班 M・F

五月某日に出荷場南側の屋根の張替えを行った事で従来の暗いイメージを一新して、節電という言葉が社会現象の一環であり、開放感あふれる窓を増やしたり、開放感あふれる取り入れられる事で太陽の光を取り雨漏りの心配がなくなった。特に雨の日は今まで電燈を付けていたが、これからはその心配がなくなった反面、夏の大変さを今以上に実感しました。

黄色の屋根シート更新

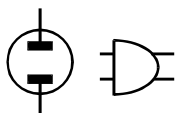
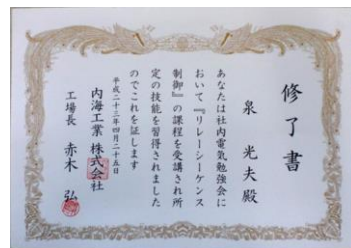


明るくなった!

東日本大震災義援金BOX

3月23日設置

従業員の皆様より...
¥22,568-
親睦会より...
¥27,432-
会社より...
¥100,000-
合計¥150,000-
寄付致しました。



東日本大震災に思うこと

この度の東日本大震災で御逝去されました方々には、心よりお悔やみを、また被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

品質管理課 K・F

私が東日本大震災で一番に思うことは、やはり津波の怖さだ。東日本大震災では、場所によっては波高十メートル以上、最大遡上高（津波が到達した地点のもっとも標高が高い所）四十メートルにもものぼる大津波が発生した。四十メートルと言うと十階建てのビルに相当する。それだけの高さの津波が自分の目の前に来れば、怖くて動けないだろうし、逃げて間に合うのかも疑問に思えてくる。

今回の事で、天災の恐ろしさ、津波の怖さを思い知りました。私たちの住んでいる岡山でも絶対に津波が来ないとは、言い切れません。予想されない天災に、私たちに何が出来るのか、じっくり考えていこうと思います。

三月十一日、仕事から帰りご飯を食べる時にテレビをつけると関東の方ですごい地震があったのを知りました。すごい衝撃的でした。チャンネルを変えても変えても地震の事ばかりでした。建物は倒れ車や船は流され逃げている人達も泣いていました。こちらにも影響が出て休日が増えたりもしました。が、被災地の人は家族を亡くしたり家を流されたり仕事をおっいたりで行き場のない悲しみをおっいたりしています。この震災です。この震災により気配りした事もありません。周りの人や海外の人の優しさです。みんな仕事が減り大変な中で支援をしてくれたり救助に来てくれたり。人というのには支えあつて生きたり。いかにいかに支えあつて生きたり。仕事が減ったのは辛いですが、被災地の方々は遊びにも行けないし好きな食べ物も食べられないし仮設住宅にさえまだ住めない人もいます。家で家族がいて仕事があるのでそれだけで亡くなられた方々へ…冥福を…

製造課 一班 T・S

業務課 生産管理班 H・I

3月11日午後3時過ぎに三陸沖を震源地とする地震が発生したとMMC水島製作所よりメールが入りましたが、まさか阪神大震災以上の災害になるとは思いもしませんでした。岡山は台風被害も数年前にありましたが、ほとんど災害のない所なので、台風が接近しても勝手に大丈夫と思い込んでいました。大津波に逃げ、波にさらわれ亡くなった方々の恐怖ははかり知れません。

住む家があり勤める会社があり食事ができることに感謝して、日々悔いのないように過ごしていきたいと思っています。

この東日本大震災で「地震・津波の恐怖」「原発問題」により世界中が衝撃を受けている中、三ヶ月半（六月二十六日現在）過ぎてまだ毎日余震が続く過去にない大地震となつています。「復興の進行」や「義援金配布」の遅れを聞き、落胆の思いでいます。一日でも早い復興とスムーズな義援金配布を願っています。

製造課 二班 T・T

製造課 3班(旧6班) S・K

3月11日の東日本大震災から3ヶ月半が経ちました。多くの方々が亡くなり、ニュースで見る被災地は今も目を覆いたくなる様な状況です。そんな中色々な方が色々な形で復興支援を行っているという話を聞きます。こういった大きな災害の時には特に人と人との絆や温かさが分かるのかも知れません。

私には自分の生活を犠牲にして支援を行うようなことはできませんが、日々の生活の中で誰かの為に出来ることがあれば精一杯やっていきたいと思っています。最後になりますが、被災地の一日も早い復興を祈っています。

業務課 M・O

地震と津波だけでも想定外の大変な被害ですが、それに加えて、解決の目途すら立たない原発事故！悲しみを抑えて復興を願い行動しようとしている方々の大きな枷となり立ちふさがっています。技術大国として自負してきた日本、原爆被爆国だからこそ原発の安全には十分な対策と配慮がなされていたと信じておりましたが、海外からの専門の技術者に知恵と力の援助なしでは解決できない現状のようです。日々のニュースで、震災の様子を繰り返し目にしますが、言葉には表せない悲痛さに胸が痛く、何も進まない現実に憤りを感じ、政府や東電に怒りを覚えてもどうする事も出来ない自分にも失望したりもします。今回の震災は東日本の方々だけでなく自動車業界以外にも全てに於いて多大な影響を及ぼし、私たちの生活にも不安等暗い影を落としています。今後起こりうるかも知れない、東海地震・東南海地震・南海地震等身の安全以外に色々想定し、シミュレーションも考えていかなければならないのではとも思い始めました。心から「頑張れ日本！！」

私が内海工業に勤務してからわずか五日目の出来事、畑から帰る時、車のラジオから、東北地方十メートルの津波、我が耳を疑いました。ラジオなので気にもせず、夕方五時過ぎ妻が帰ってからの大変、地震、地震、早くテレビのスイッチを入れて見たい、車、家、凄惨、慌てて子供たちの身が気になり、電話、メール、なんとか連絡がつき一安心、そんな三月十一日でした。今では東北地方の知人や行った事のある港等北の事が気になるが何も出来ず過ぎる日々です。

業務課 生産技術班 T・N

退職にあたり

M・K



私は昭和四十三年十月に入社以来皆さんに、助けて貰い四十二年間務める事が出来ました。大変に有難うございました。又社長さんはじめ、大変御世話になりました。津山に来ることがあれば寄ってください。



全国障害者スポーツ大会優勝

製造課 二班 T・T

僕は、長年ソフトボールをやっています。キャプテンになって十年以上です。今も練習を毎週日曜日の昼過ぎから四時過ぎまでやっています。雨の日は体育館を使って行っています。選手一人一人が練習を積み重ねてやっているので、優勝につながる事ができるのです。僕の目標は、今年優勝したら三連覇で来年勝って、四連覇を達成することです。僕がキャプテンをまかされる以上がんばります。前回の全国障害者スポーツ大会「大分大会」の時に、東京都チームに一回戦で負けて、その時に四連覇をはばまれたことがあります。あの時はくやしい思いをして帰って来ました。その時次は四連覇できるよう選手一人一人がそんな思いで考えています。



優勝報告

平成22年10月23日(土)～25日(月)



知事との記念撮影

私事ではございますが、四月十八日に二七五〇gの女の子を出産しました。初めての出産だったので、陣痛が始まり、生まれたまで三十四時間かかりました。だんだん強くなる痛みが耐えながら、先が見えない感じがとても不安だったので、元気が泣き声も聞かなくて、生後三ヶ月になり、現在の、生後三ヶ月になり、日々の成長に驚かされています。最近では、話しかけてくれたり、ニコッと満面の笑みでこちらを見てくれます。陽菜はお風呂が大好きなようで、湯船につかると気持ちよさそうにします。その光景を見て一瞬「温泉でくつろぐ子ザルちゃん？」と笑ってしまいました(笑)また嬉しかったり、怒ったりする時に足をバタつかせ、蹴ってきます。あたふたしながらも子育てを楽しんでいます。まだまだ新米パパ&ママですが、子供と一緒に成長したい事だらけなので、皆さんに聞きつつ頑張りたいです。

五期生入社

製造課 六班 副班長 N・O

第一子誕生にあたり

業務課 M・H



☆New Face☆ 元気にすくすく育ってね♪



私は十一月二十九日に五人目の男の子を出産しました。孫も上は今年四歳になり、娘も出産をひかえていて親子そろっての妊婦となりました(笑)。高齢出産という事もあってか二ヶ月近くの早産になりました。出産前は班の人達のあたたかい心配りに何度も感謝の気持ちでいっぱいになりました。一ヶ月おくれた退院と言われました。毎日電車に乗って母乳を運びました。保育器の中の赤ちゃんは目茶苦茶、小さくて最初を送る管がとおしてあり見ただけで抱っこさえさせてもらえませんでした。徐々に赤ちゃんにふれてみたり抱っこを少しの間でできるようになり授乳をしたりお風呂に入れたり：午前中は病院で過ごす日々が続きました。名前は優しく夢のある子という意味で「Y」と名付けました。一ヶ月後十二月二十九日体重も二八〇〇gになりました。私は早く仕事に復帰したい一心で生後三ヶ月で保育園に預け戻りましたが、インフルエンザに百日咳と続けて病気がかり一ヶ月育休をのびしてもらい今度こそと思いつ事を始めましたが、咳が止まらず毎週のように病院へ通う日が続きました。結局、乳児喘息と診断され今に至っています。そんなこんなで会社の皆さんには迷惑かけっぱなしになり申し訳ありません。高齢出産となった分、Yとは他の兄弟より一緒にいる時間が短い分、出来る限り愛情をそそいで少しく一緒にいる時間を増やしたいと思っています。これから先、会社のみなさん、特に三班の仲間には迷惑をかけないよう頑張りたいです。よろしくお願いします。

男児誕生

製造課 三班 I・A

